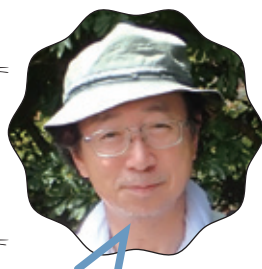


今日から始める  
自然観察

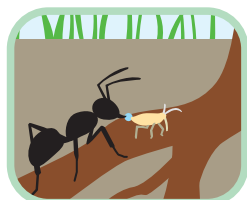
# モフモフを通して 命のバトンタッチを観よう



まつもとよしゆき  
松本嘉幸  
日本半翅類学会会員  
公立中学校非常勤講師

アブラムシの中には、白いモフモフの口ウ物質を出すものがたくさんいます。じっくり観察してみると、モフモフのまとい方もさまざま。やわらかそうなふわふわな綿毛が目立つ種をいくつか紹介します。

この時期の幼虫は足が長いのが特徴。アリの助けを受けて地下に運ばれ、トドマツの根から樹液を吸って育つ。アリは幼虫が出す甘露をもらう。



有翅型の成虫。体にはモフモフが見られるが幼虫の時より少ない。これからトドマツの根元に移動して幼虫を産む。



有翅型の幼虫がだいぶ大きくなった。背中に並ぶ口ウ腺から出てきたモフモフはインギンチャクのようなだ。



大きな虫は幹母の成虫。幹母の幼虫はモフモフだが、成虫になると姿が変わる。周りにいる小さな虫は、幹母が産んだ有翅型の幼虫。もう背中にはモフモフのものと見える。



## 背中がモフモフ 「雪虫」

### トドノネオオワタムシ

雪虫は、トドノネオオワタムシがトドマツの根からヤチダモに戻ってきた時の呼び名だ。夏の頃の有翅型の成虫よりもモフモフが大きい。ヤチダモの樹皮に有性世代（オス・メス）を産む役目がある。



雪虫が産んだオレンジ色のメスと暗緑色のオス。両者とも口がなく餌も食べない。交尾してメスが卵を産み、卵で冬を越す。

### 雪虫の暮らし

アブラムシには体に綿毛（モフモフ）を持った種類が見られます。

北海道ではトドノネオオワタムシが「初雪が近いことを教えてくれる虫」として有名で、「雪虫」と呼ばれています。この虫が飛ぶのは晩秋、穏やかな風のない夕方が選ばれるようです。

春から初夏はヤチダモの葉裏で生活した後、トドマツに移住し、夏〜秋はトドマツの根でアリと共生します。晩秋には翅を持ったモフモフの「雪虫」の姿になってヤチダモに戻ります。多くの時期を胎生でメスの幼虫を産み、メスだけで暮らしますが、ヤチダモに戻るとそこで有性世代（オスと卵を産むメス）の幼虫を産みます。有性世代が交尾することで越冬卵が産み落とされます。春に孵化した第1世代を幹母と呼び、幹母がたくさんの幼虫を産んで、世代が継承されていきます。

### いろんなモフモフ

モフモフを持つアブラムシはト

# モフモフの付き方を見てみよう

## 背中に大きな口腺が並ぶ 雪虫のなかま

右の2種はトドノネオオワタムシと同じ属で、比較的大きく、ずんぐりした姿、腹部背面に大きな口腺が並ぶ。通常、アブラムシの翅は体長よりも長く、グライダーのように滑空することが知られているが、この仲間は翅を上下に動かし、腹部末端に綿毛を身に付け飛ぶ。



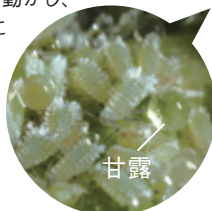
### トウネズミモチハマキワタムシ

5月ごろ、葉の縁が内側に巻いている庭木のネズミモチやトウネズミモチの葉裏を見よう。夏は針葉樹に移住しているようだ。側部にもモフモフがいっぱい。多く寄生するとコロニー内には球形の甘露も見られる。本州に分布。



### ヒイラギオオワタムシ

5月ごろ、庭木のヒイラギの枝にモフモフの群れをつくる。夏は針葉樹に移住しているようだ。一説では本州で見られる雪虫はこのアブラムシではないかと言われている。本州で局所的に分布。



## お尻の左右に目立つ綿

### カバハマキヒラタアブラムシ

腹部後方の両縁部に綿毛を付ける。この姿は新緑の時期に見られ、葉が伸長する時期の次世代からは全体がモフモフになる。4~6月、シラカンバの新葉の葉表に火ぶくれ状の虫こぶをつくる。北海道・本州に分布。



## 全身綿まみれ

### エノキワタアブラムシ

4~11月、エノキの葉裏に見られるポピュラーなアブラムシ。冬はエノキの冬芽の周辺で卵で過ごし、一年中エノキで暮らす。スス病菌で葉が黒くなくても見られることがある。本州・四国・九州・沖縄に分布。



## お尻に長〜い毛

### ブナハアブラムシ

腹部後方に綿毛が伸びる。5~10月、植栽のブナや林縁の野生のブナ・イヌブナの葉裏に見られる。冬は枝先の冬芽の周辺で卵で過ごす。北海道・本州・四国に分布。

ドノネオオワタムシ以外にもたくさんいます。モフモフは体の表面を覆っている綿毛状の口腺物質ですから、哺乳類のような毛ではありません。アブラムシは同じ種でも、前述のような翅を持つ有翅型以外に、翅のない無翅型がいます。モフモフは、有翅型の幼虫では量や形(姿)が変化しますが、成虫になると局所的になります。また、無翅型では幼虫から成虫になるまで、モフモフの量や形が変化し、最終的に全身が綿毛で覆われるものがたくさんいます。モフモフを出す口腺は普通、腹部の背面にあります。

どんなモフモフを出しているのかじっくりと観察してみてください。モフモフがどんな役割をしているのかは不明ですが、私はこんな小さな虫が頑張っている姿に魅了されています。

**EPSON**  
EXCEED YOUR VISION

本コーナーは、エプソン純正カートリッジ引取回収サービスを利用されたお客様のポイント寄付によるご支援をいただいております。